

'89 新春の笑顔独占!

超人気コミック待望の映画化!!

釣りバカ日誌

仕事がなんだ、出世がナンタ——
のんびり陽気に生きようよ!



西田敏行
石田えり
山瀬まみ
戸川純
アバッチけん
鈴木ヒロミツ
谷啓
丹阿弥谷津子
名古屋章
笹野高史
園田裕久
江戸家猫八
前田武彦
三國連太郎

監督/栗山富夫
原作 (作) やまさき十三
(脚) 北見けんいち
(原) 宇野浩二「ビッグコミック」連載
脚本/山田洋次
脚本/山田洋次
製作/山内静夫
プロデューサー/ 潮島光雄
中川滋弘
企画協力/日本映像(株)
撮影/安田浩助
美術/重田肇盛
音楽/三木敏悟
録音/高橋和久
照明/飯島興一
編集/鶴田益一
協力/Daiwa

松竹映画

愛されて40作。

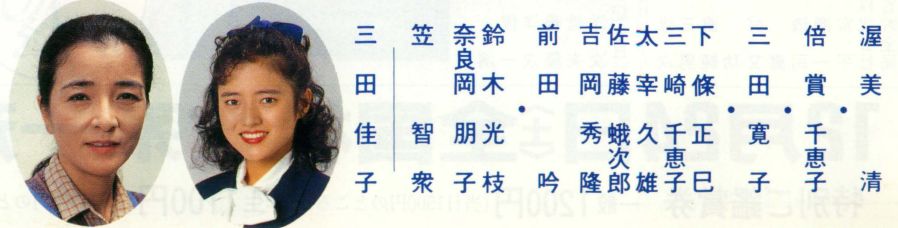


とりたての短歌を一首
ため息を
どうするわけでは
ないけれど、
わたくしまたまた
恋したりして…。
「寅次郎サラダ記念日」より

原作・監督＝山田洋次

男はつらいよ 寅次郎サラダ記念日

松竹映画
最新40作



三田佳子	笠智衆	奈良岡智子	鈴木岡木	前田秀次	吉岡隆	佐藤幸次	太田幸次	三田久恵子	下條千恵子	三田寛子	倍賞千恵子	渥美清
------	-----	-------	------	------	-----	------	------	-------	-------	------	-------	-----

会社に人生を捧げた哀しい会社人間があふれているなか、仕事に情熱無し、出世に興味なしの世俗離れした男がいた。男の名前は浜崎伝助、通称「浜ちゃん」。彼は業界では中の建設会社に勤めているサラリーマン。業績、勤務態度、職務能力、向上心、協調性、統率力のすべてに最低のCランク。自分の会社の社長の前にも知らない脳天気な男である。つまり、浜崎伝助はサラリーマンとしては完全にベケ。だがそれもこれもすべては彼の趣味のため。いえ、趣味などという優雅なものではない。彼は人生の情熱、生きる価値のすべてを釣りに注ぎ込んでいっている。この映画の主人公、浜ちゃんこと、浜崎伝助とはこんな男である。

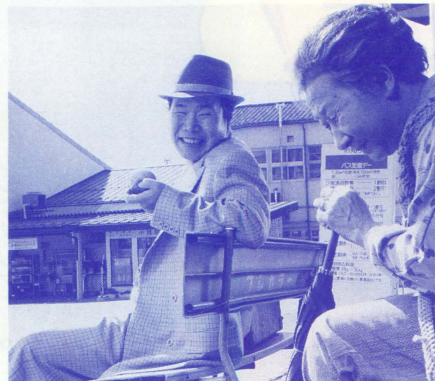
さて、ドラマは釣りと妻をこよなく愛し、人生を無欲で生き、一見ヤボに見える男が実は誰からも愛される男、浜崎伝助のサラリーマン・ライフを人情味豊かに、そして社長の顔を知らなかったことから起こる様々なエピソードをコミカルに描いていく。人間とは、人生とはかくあるべきなど大義理ではないにしても、主人公のライフ・スタイルでサラリーマンの秘やかな願望を表現するこの作品は、言い方を変えれば、爽やかなサラリーマン讃歌でもある。ひいてはストレスだらけの現代人の憧れに満ちた映画である。

原作は53年の夏より、「ビッグコミックオリジナル」(小学館)に作、やまさき十三、画、北見けんいちによって連載が開始され、現在連載10年を迎える人気シリーズ「釣りバカ日誌」である。さらに150万人の読者に支持されているこの劇画は、コミック本としてすでに22巻までが発売されている。この超ベストセラーの映画化である。

主人公の鈴木建設営業三課の浜崎伝助、通称「浜ちゃん」には、「植村直己物語」で極楽の男を「敦煌」で砂漠のヒーローを演じ、その独特のキャラクターで躍進している西田敏行、伝助の愛妻、みち子には「ダウングラウン・ヒーローズ」華の乱」に重要な役で出演し、ノだけの人が、感じとった事でしょう。

かいせつ

昭和44年に産声をあげた「男はつらいよ」シリーズは、今回の作品で20年、40作目を迎えます。



「長い一本の作品を撮り続けているような気持ち」という山田洋次監督をはじめ渥美清、倍賞千恵子らレギュラー出演者のチームワークはまだまだ続きます。1989年新春に登場する今回の40作目は、題して「寅次郎サラダ記念日」。

りにノッている石田長でよんことから伝助の弟子になるハメになった鈴木一之助、通称「一鈴ちゃん」には、日本映画界を代表する俳優であり、また「親鸞」/「白道」を監督してカンヌ映画祭で審査員特別賞を受賞した三國連太郎。そして伝助の上司、佐々木和男には谷啓。お正月映画ならではの豪華キャストである。



監督/栗山富夫

釣りバカ日誌

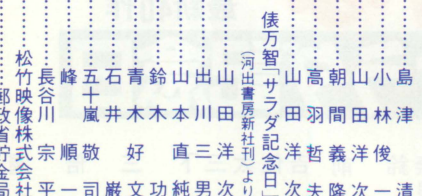
●キャスト
西田敏行 石田えり 山瀬まみ 戸川純 鈴木ヒロミツ 谷津啓 丹阿弥谷津子 名古屋高史 笹野高史 園田裕久 江戸家猫彦 前田武彦 三國連太郎

●スタッフ
原案 三國連太郎
脚本 山田洋次
製作 山田洋次
プロデューサー 山田洋次
企画協力 山田洋次
監督 山田洋次
撮影 山田洋次
美術 山田洋次
音楽 山田洋次
録音 山田洋次
編集 山田洋次
監理 山田洋次
制作 山田洋次
協力 山田洋次



山田洋次、朝岡義隆が、久々に、寅さんの大人の恋物語を作り上げました。初秋の信州、旅先でふと知り合った未亡人の女医さん。例によって、クラクラとめまいがするようないい思い出にたわわらる寅です。その女医さんには、短歌が好きな女子大生の姪がいます。柴又にもどった寅は、早速、彼女の通う早稲田大学へ行ってみることにします。ヒョンなことから、大学の講義を受けることになった寅ですが、教室中大爆笑、講義はメチャクチャになってしまいます。せめて、あの女医さんの消息が知りたい寅が東京へ来るといいます。彼女が、あいつも変わらぬワソワソ、インソンの寅。

●キャスト
渥美清 倍賞千恵子 三田寛子 三田佳子
笠原知子 奈良岡朋子 鈴木光枝 前田吟 吉岡秀隆 佐藤久雄 太田幸雄 下崎正巳 三崎寛子 三田寛子
●スタッフ
企画 山田洋次
プロデューサー 山田洋次
脚本 山田洋次
原案 三國連太郎
監督 山田洋次
監理 山田洋次
美術 山田洋次
音楽 山田洋次
録音 山田洋次
編集 山田洋次
撮影 山田洋次
制作 山田洋次
協力 山田洋次



12月24日(金)全国松竹系一斉公開!!
特別鑑賞券 一般1200円(当日1500円のところ) 学生1100円(当日1300円のところ) 絶賛発売中!
有楽町・マリオン新館5F 丸の内松竹 (214) 3366
地下鉄東銀座駅下車・松竹セントラル1横 松竹セントラル2 (541) 1786